PRESS　RELEASE　多摩六都科学館　2024 年 4 月 17 日（水）

世界最大級のプラネタリウムドームで“宇宙をきく”
全編生解説プラネタリウム「音で知る宇宙」がスタート

多摩六都科学館（東京都西東京市、館長：髙柳雄一）では、５月 21 日（火）から、全編生解説プラネタリウム「音で知る宇宙」の投影が始まります。

今回は、3 月 9 日（土）に行った「サイエンスエッグで『きく』！ 音で『みえる』世界？」での実験的イベントを経て、「音」にフォーカスしたオリジナル番組を企画しました。視覚だけでなく、聴覚でデータを知ることができる「ソニフィケーション」という方法を宇宙と紐づけ、数字や光を変換した音を聴きます。音で宇宙を知ることにより、宇宙研究の入り口に触れ、興味を深めるきっかけとなるプログラムです。

ぜひ広くご周知いただけますようお願い申し上げます。

プラネタリウム番組「音で知る宇宙」概要

【名　称】全編生解説プラネタリウム「音で知る宇宙」
【日　時】2024 年 5 月 21 日（火）～ 7 月 19 日（金）
平日 (水曜日を除く）　15:50 ～ 16:35
土日祝・水曜日　　13:10 ～ 13:55、15:50 ～ 16:35
※5/29・6/26・7/17 の 13:10 は、大人向けプラネタリウムのため投影なし
※休館日は当館ウェブサイトをご確認ください
【会　場】多摩六都科学館 サイエンスエッグ
【対　象】どなたでも（小学 2 年生以下は保護者と観覧）
【定　員】各回先着 234 人
【料　金】観覧付入館券（大人 1,040 円、4 歳～高校生 420 円）
【観覧方法】当日インフォメーションにて、観覧券を販売

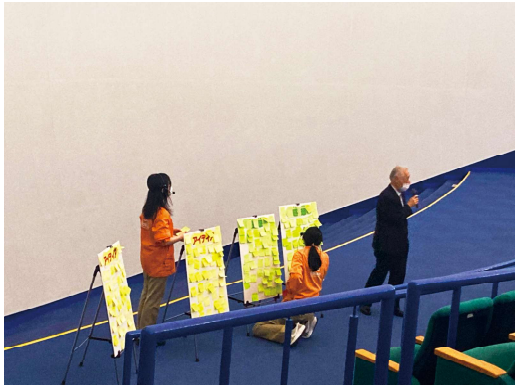
©NASA/CXC/SAO/K.Arcand, SYSTEM Sounds
(M. Russo, A. Santaguida)

データを聴覚で理解する「ソニフィケーション」

目では認識できないデータや光などを変換し、聞くことができる方法を「ソニフィケーション」といいます。宇宙・天文分野では、観測で得られた複雑な数字や光、音など宇宙のデータを人間の可聴域に変換することで、宇宙の様々な情報を直感的に知ることができます。視覚以外の情報を得て、宇宙の研究の可能性が大きく広がることを、スタッフの生解説と当プラネタリウムドームが誇るサラウンドシステム、迫力のある映像により伝えます。

天文グループ　企画担当よりひとこと

宇宙といえば「無音」、というイメージをお持ちの方も多いかもしれません。しかし宇宙空間には、ガスやちりなどの物質が集まる場があり、そこには確かに音が存在しています。さらに近年は、天文学の分野でもデータを音で聴く手法・ソニフィケーションを用いた研究が進められており、ますます宇宙と音の関係に注目が集まっています。
目で楽しむ宇宙とはひと味異なる、「音で知る宇宙」をお楽しみください。


3 月 9 日 (土) に行った多摩六都科学館開館 30 周年記念イベント「サイエンスエッグで『きく』！ 音で『みえる』世界？」の様子

お問い合わせ先
多摩六都科学館　広報担当（廣田・蓮田）まで
〒188-0014　東京都西東京市芝久保町 5-10-64
TEL　042-469-6100（代表）　042-469-6984（広報直通）
Mail　info2@tamarokuto.or.jp　Web　https://www.tamarokuto.or.jp/